

学園タイムス

Sagaseishigakuen times

Vol.4

- 発行日：平成 26 年 3 月 31 日
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

～ 加唐島の椿 ～

唐津市の加唐島は佐賀県最北端の玄海灘に浮かぶ周囲 12km の島で、椿の島とも言われ沢山の椿が自生しています。椿の実は秋に収穫し、椿油の原料となります。



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

巻頭言

わがまち、金立

社会福祉法人 佐賀整肢学園
法人事務局 事務局長 寺崎敏光

佐賀市金立町は社会福祉法人佐賀整肢学園の揺籃の地である。

当法人は、今から54年前の昭和35年、この地に定員30名の肢体不自由児施設佐賀整肢学園が設立されたことにより誕生した。

設立の原資となったのはお年玉つき年賀はがき寄付金の2,000万円である。昭和34年の多額配分県に佐賀県が選定され、どのような施設を整備するか、共同基金会や県等で検討がなされた結果「本県において最も必要で将来の運営にも支障なきもの」として肢体不自由児施設の新設が決定された。そして、昭和33年12月、県、市町村、民間の代表者をメンバーとする肢体不自由児施設設置準備委員会が発足し、施設敷地候補の調査が開始された。昭和34年1月の鳥栖市から始めて、2月に唐津市及び嬉野町、4月に佐賀市金立町へと調査範囲は広がった。その間、県内の敷地候補地は12箇所にも及んだが、同年6月、最終的に佐賀市金立町松原に決定した。

そして、準備委員会が設置協議会に切り替わり、同年8月には財団法人佐賀県肢体不自由児施設設置協議会が設立された。施設敷地約1万㎡は、佐賀市から無償譲渡されることになった。その後、昭和35年8月、現在の社会福祉法人佐賀整肢学園の発足に至った。

発足以来今日まで、同地には法人本部とこども発達医療センターが置かれていたが、平成9年、同じ金立町の、ここから約2km以内の近隣地に、身体障害者療護施設オークスを開設し、平成21年には介護老人ホーム佐賀向陽園を県から移譲されて経営を行っている。

このように、金立町はまさに法人にとって故郷の地であるが、佐賀市においてこの地は「歴史とロマンの里」と呼称されている。その由縁の代表が徐福伝説である。

パソコン画面の凝視で疲れた眼を癒すために、2階の事務室の窓から北方の空に眼をやれば、そこには標高501メートルの金立山が四季折々の色彩で彩った山肌を見せてくれる。

この金立山の山頂から山麓にかけて、徐福を祭る金立神社の奥の院、上宮、中宮、外宮があり、これら神社のほか

にも徐福伝説関係の史跡が多いところである。

徐福伝説は全国各地に約30ヶ所あるといわれている。今から2200年前、中国統一を成し遂げた秦の始皇帝は、あらゆる権力を手に入れ栄華の日々を送っていたが、老いと死の不安からは逃れられなかった。古来より中国には、不老不死を願う神仙思想があり、仙人が不老不死の霊薬を作っているという言い伝えがあった。始皇帝は神仙の術を行う方士である徐福に「五穀、百工のほか童男童女三千人」を与えて、霊薬を探すため旅立たせた。徐福一行は有明海から、佐賀市南部の諸富町に上陸し、不老不死の薬を求めて金立山に入り、そこで村人の援助によって霊草「フロフキ」を探し出したとされている。金立神社には4艘の舟に乗って海を渡る徐福一行の姿を描いた「絹本淡彩金立神社縁起図」があり、縁の深さがうかがえる。

金立山麓には薬用植物園のメイン施設として、長寿と健康テーマに、徐福伝説に関する資料や長寿と健康、薬用植物等に関する資料などを展示した徐福長寿館が佐賀市によって開設されている。

更に、時代は下って江戸時代中期になるが、徐福長寿館から西方に行ったところに、「薬隠」発祥の地の石碑が建っている。「薬隠」とは、肥前佐賀藩士山本常朝が、1716年頃、武士としての心得について口述した内容を、同じ鍋島藩士田代陣基が記録し7年の歳月をかけて11巻からなる「薬隠問書」としてまとめたものである。この石碑は、その山本常朝が隠棲していた朝陽軒のあった場所を示している。

また、こども発達医療センターのすぐ北には、4世紀末頃に築造された前方後円墳の鏡子塚古墳が残されており、さらにセンターの南には大宰府から肥前国庁へ至る奈良時代の古代官道が走っていた。

まさに金立町は歴史文化遺産の宝庫であり、50年以上前に、数多くの候補地の中から現在地を選定された法人創設者たちの先見性に敬意を払うとともに、「歴史とロマンの里」である金立町のこれらの地域資源について、地域貢献の観点からも、機会をとらえて、法人職員はもとより広く一般に対しても情報発信していきたいと考えている。

各種報告

平成25年度第3回理事会・評議員会（法人本部）

平成26年1月30日（木）、平成25年度第3回理事会が開催されました。

理事会では報告事項としてこども発達医療センターの西棟改築工事の契約締結について、こども発達医療センター、からつ医療福祉センターにおける監査・検査関係の報告など3件の報告がなされました。また、からつ医療福祉センター職員（医師）宿舎用住宅の取得についての議案を審議し、原案どおり議決されました。

協議事項では、情緒障害児短期治療施設の整備計画についてなど5件の協議が行われました。

平成25年度第4回理事会・評議員会（法人本部）

平成26年2月28日（金）平成25年度第4回理事会が開催されました。

佐賀整肢学園福利厚生事業ハウステンボス分譲住宅の取得、社会福祉法人佐賀整肢学園建築工事に係る設計監理委託契約締結、佐賀整肢学園こども発達医療センター隣接地取得等の3つの議案について審議し、原案通り可決されました。

こども発達医療センター 託児所増築棟テープカット式

かねてより佐賀県医務課の補助事業として建築中であった託児所増築棟が竣工し、11月1日に開所を祝って、テープカット式を行いました。現在、事業所内託児所として職員の児童を預かっておりますが、定期利用者の増加と疾患別病児保育に対応するため、規模を拡大しました。現在定期利用19名、臨時利用（主として病児保育）39名で運用しており、当センター以外の法人内の他事業所からも受け入れを行っております。

当日は利用児童代表も加わってテープカットを行い、児童からは「ありがとうございました」という大きな声でお礼の言葉をいただきました。

増築棟は木の温もりを重視した木造となっており、南側のひさしの一部を透明にするなど、採光に十分配慮した明るい託児所となっています。

子どもたちの大切な幼児期を職場の敷地内で保育でき、何かあった場合でもすぐに対応できる診療体制が整っていることから、育休明けの職員や小さな子どものいる新規採用職員にとって、安心して仕事ができる環境を提供しています。今後も福利厚生事業の一環として、子育て支援、魅力ある職場づくりを充実させていきたいと考えます。



事業所 TOPICS

こども発達医療センター

七五三お祝い会



11月14日に入所と通所の合同で七五三のお祝い会を行いました。医療型障害児入所施設、児童発達支援センターを有するこども発達医療センターの特徴的な行事として、例年この時期に行っています。

今年度は七五三の対象者が20名と多く、保護者の方々も多数ご参加いただきました。講堂に祭壇と紅白幕が設置され、おごそかな雰囲気で開催しました。神道青年会様による神事が行われる際、太鼓や笛の音に驚き泣かれる利用者さんもいらっしゃいましたが、無事にお祝い会を終えることができました。

11名ご出席いただいた神道青年会の皆様にご紹介をいただき、利用者さんには歳と季節を感じられる非常に貴重な経験になったことと思います。

オークス

クリスマス会

12月17日にクリスマス会を開催しました。今回のクリスマス会は第1部として、佐賀県警音楽隊の方が話題のあまちゃんの曲など利用者の方のリクエストに応じていただきました。迫力のある演奏とトランペットのきれいな音会場に響いていました。

第2部は、今回初めての試みでイルミネーション点灯式を行いました。

利用者の皆さんの「3・2・1」のカウントダウンのかけ声で、会場は、ブルーとピンクのイルミネーションと職員が作ったシャンパンタワーが輝き、幻想的な雰囲気に包まれていました。



かんざき清流苑

年始会 / 初詣



平成26年元旦に年始会、1月14日に初詣会を行いました。年始会では施設長からご利用者の皆様にお屠蘇をふるまわれ、その後は今年の抱負を語って頂きました。

初詣会では仁比山神社宮司様をお迎えして、お払いと利用者皆様の健康を祈願が行われました。ご利用者の皆さんと共に、新年を迎えた喜びを感じることができました。ご利用者の皆様今年1年病気で怪我をさげずお元気にお過ごし下さい。

できること発表会

からつ医療福祉センター

12月14日に通園部において、「できること発表会」を開催しました。発表会では劇「桃太郎」と「歌メドレー」を披露しました。

できること発表会とは、園児さん達が通園での療育や個別のリハビリテーションで日々頑張った成果を保護者の皆様や来賓の方々に見てもらおうものです。

劇の中に園児さん全員が発表する場面を組み込み、感動的な場面が盛りだくさんの発表会となりました。

発表会の後は、サンタクロースからプレゼントもあり、子ども達は大喜びでした。



小桜保育園交流会

かんざき日の隈寮



日の隈寮では、毎年神埼町にある小桜保育園とサツマイモの苗植え・芋掘り交流会を行っています。5月31日に保育園生と一緒にサツマイモの苗を植えました。その後11月12日に、大きく育ったサツマイモを保育園児さんと利用者の方と一緒に収穫しました。土の中には大きいサツマイモがたくさんあり、掘るたびに保育園児の歓声が上がっていました。利用者の方からは「子供と一緒に芋掘りが出来て、嬉しかったよ!」「可愛い子ばかりで、楽しかった!」という声が聞かれました。

また12月17日には、サツマイモの収穫のお礼に、保育園生35名がお遊戯を披露してくれました。利用者の方もかわいい子どもの衣装や踊りを見ることができ、たいへん満足されていました。

施設対抗ゲートボール・グランドゴルフ大会

佐賀向陽園・わいわい

10月31日に佐賀県施設対抗ゲートボール・グランドゴルフ大会が佐賀市民グラウンドで開催されました。この大会は佐賀県内の老人福祉施設の利用者の皆様に日頃の練習の成果を発揮する場の提供と利用者の方々の交流を目的に、毎年開催されています。

今回は当施設を代表して10名の利用者がグランドゴルフの選手として出場しました。皆さん日頃の練習の成果を発揮し、善戦しました。個人・団体戦共に入賞はできませんでしたが、参加された選手からは、来年に向けて、また練習を頑張るぞと意気込みが聞かれていました。



養護老人ホーム

佐賀整肢学園・佐賀向陽園

施設の概要

養護老人ホームとは、概ね 65 歳以上の方で、環境上の理由及び経済的な理由により、居宅での生活が困難な方が入所される施設です。老人福祉法に基づく措置の為、入所を希望される方は、居住地の市町村高齢者担当にご相談下さい。

定員：80名 H26.1.1現在

男性	女性	計	平均年齢
25	55	80	80.2

職員配置

H26.1.1 現在

施設長	事務員	生活相談員	支援員	看護師	栄養士	調理員
1	4	3	8	1	1	外部委託

※支援員は通常、日勤3名(早出1名、日勤1名、遅出1名)、夜勤1名体制です。

行事紹介

利用者に季節感を楽しめる行事を計画し、地域住民との交流も図っています。



記念祭・観桜会



敬老ふれあい秋祭り



新年祝賀式

自立者の活動風景



河川清掃



地域行事への参加



日帰り旅行(プロ野球観戦)

介護サービスを利用していない自立者に、地域行事等の参加や社会貢献活動を通じて、生きがいを支えています。

特長

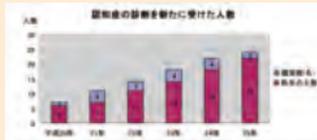
ベテラン職員と若い力を融合させながら、入所者と共に明るく楽しい施設づくりを行っています。

これからの展望

- ・手厚い介護サービスが必要であるが、措置施設である為、収益の上限が決まっており、職員を増やすことは難しい。
- ・入所者の重度化により、要介護者等の中で、認知症を有する入所者が年々増加している。

利用者と認知症

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年
増加数(名)	1	4	3	4	4	2
昨年の人数	6	7	11	14	18	22
統計人数	7	11	14	8	22	24
園内割合	8.8%					30.0%



認知症の診断者数が3倍以上に!

平成27年4月
認知症デイ運営開始予定



佐賀向陽園



両事業所の経



居宅介護支援センター わいわい

利用者が住み慣れた環境で可能な限り、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営めるように、介護保険法に基づく通所（予防）介護や訪問（予防）介護、障害者総合福祉法に基づく居宅介護のサービス提供を行っています。

ご相談や見学等ございましたら、気軽にお電話ください。



デイサービスの利用風景

所の外観



わいわい

営理念「和」



通所介護（デイサービス）

利用定員：25名



買い物外出



花見外出

入浴や食事、レクリエーションをはじめ、季節に応じた外出や買い物支援等、個々の状況に応じたサービスを提供しています。

訪問介護（ヘルパー）



生活援助



身体介護



有料老人ホームかんざき清流苑

神崎市にある有料老人ホームや在宅の高齢者へ訪問介護サービスを提供しています。

居宅介護（身障ヘルパー）

佐賀市や唐津市にある福祉ホームや在宅の障がい者へ居宅介護サービスを提供しています。



援助の様子



福祉ホームくるみの家



福祉ホームきらり

特長

定年後の方でも、今までの経験を活かして、様々な場面で活躍されています。



まとめ

自立者から要介護者まで様々なケースを抱えておられる利用者の状況が、日々変化していく中で、両事業所の職員が共通の理念をもとに協働し、利用者一人一人の生活に寄り添いながら、生活支援や介護サービスなどを提供していきます。

クローズアップ

からつ医療福祉センター職員クリスマス会

からつ医療福祉センターでは職員互助会活動として、毎年職員と家族を対象としたクリスマス会を開催しています。職員の皆さんに楽しんでもらうことはもちろんですが、職員の家族の皆様にも、職場に招待し食事や抽選会など楽しんでもらう試みが特徴です。

今年度も平成25年12月20日に、100名を超える職員とその家族の皆様にお集まり頂きクリスマス会を開催しました。ケーキ、お寿司、フライドチキンなどの盛り沢山の食事の他、現在人気の布団掃除機などが当たる参加者全員対象の抽選会などを行い、大いに盛り上がりました。また子どもさんには、お菓子のつかみ取りやお菓子入りのクリスマスブーツなどのプレゼントも用意され、楽しいひとときとなりました。



こども発達医療センター職員互助会旅行

こども発達医療センター職員互助会では、毎年恒例となっています職員間の親睦を目的とした「旅行」を企画してきました。今年度は、平成25年11月16日（土）～18日（月）の2泊3日の行程で「30周年の東京ディズニーリゾートとスカイツリーの旅」に参加者41名で行って参りました。初日から目一杯楽しんでからおうと、とても便利な佐賀有明空港から、6時45分発の便で一路羽田へ。16・17日はリゾート近郊のホテルに滞在し、各々が立てた計画に沿って、ディズニーランド&ディズニーシーを閉園ぎりぎりまで、思う存分満喫してきました。最終日は参加者全員で浅草寺、いまだ入場困難な東京スカイツリー展望デッキ入場、東京ソラマチでのショッピングと人気のスポットを巡り、充実した3日間を過ごすことができました。また、諸事情により宿泊旅行に参加できない方には「日帰りバスツアー」を企画しており、今年度も「海響館ツアー」「瀬の本高原でのバイクと果物狩りツアー」に行っていました。こちらは子ども連れでの参加が可能のため、職員の家での様子が垣間見られるなど、宿泊旅行とは違った趣の旅となっております。今後も楽しい旅行を企画して参りますので、互助会活動にご協力よろしくお願いいたします。



■ パワーハラスメント防止に関する研修会の開催

法人内の各施設で、パワーハラスメント防止に関する研修会が次のとおり開催されました。

10月2日の「佐賀向陽園・わいわい」での開催から、1月18日のからつ医療福祉センターまで計五回行われましたが、各会場とも受講者は講師の話に熱心に耳を傾け、パワーハラスメントの無い職場づくりを目指す熱い気持ちが会場に充満していました。

これからも、働きやすい職場環境の確立・維持のため、このような研修会を随時行っていきたいと考えています。



からつセンターでの研修会の様子

開催年月日	対象者	講師派遣元
平成25年10月2日	佐賀向陽園・わいわい職員	介護労働安全センター
平成25年11月26日	オークス職員	(独法) 労働者健康福祉機構・佐賀産業保健推進連絡事務所
平成25年12月10日	法人内幹部職員	
平成25年12月11日	かんざき清流苑・日の隈寮職員	
平成26年1月18日	からつ医療福祉センター職員	

■ 佐賀県内障害者支援施設職員研修会

からつ医療福祉センター 久里双水園
入所サービス課 生活指導員 川打 剛

平成26年2月25日、佐賀県内障害者支援施設職員を対象とした、佐賀県内障害者支援施設職員研修会が、からつ医療福祉センターで開催されました。県内の6施設40名の方が、参加され、からつ医療福祉センターからも10名の職員が参加しました。

当センターの理学療法士の掠野より、姿勢管理、移乗介助について講義が行われました。実際の介護場面に則した、すぐに業務に活かせる内容で、参加者の皆様熱心に講義を聴かれました。

講義終了後、からつ医療福祉センターの施設見学を行いました。講義に参加された方全員が見学を希望され、施設の設備、勤務者数、利用者の構成等それぞれの施設の実情や違い、介助法等、皆様活発に意見交換され案内をした職員も含め勉強になり、大変有意義な研修会となりました。施設見学も含め盛会のうちに終了する事が出来ました。



日韓福祉施設交流協定締結

平成 25 年 12 月 12 日（金）、韓国釜山市にあるサジク総合社会福祉館の館長はじめ 10 名の職員の方々が、法人間の職員交流を基本とする交流協定の調印と、視察の目的で佐賀整肢学園を訪問されました。

サジク総合社会福祉館は新羅^{しんら}大学の運営法人である拍栄学園が 1997 年に開館し、16 年目になる総合福祉施設です。福祉館では老人福祉センター、地域児童センター、多文化家族支援センター、就労リハビリセンターなど全部で 9 カ所の

付設施設を運営しています。ス

タッフ総数は約 200 名で社会福祉士、保育士、精神保健福祉士、言語治療士などが勤務しています。

調印式は佐賀整肢学園法人本部で行われ、当法人から、原学園長をはじめ寺崎事務局長、オックス 中島施設長、佐賀向陽園 古川施設長等が参加しました。交流協定の調印式では、佐賀整肢学園 原学園長とサジク総合社会福祉館のファン館長との間で交流協定書への署名が行われ、両法人の交流協定が成立しました。調印後は、当法人の概要説明や記念品交換を行いました。

この後、サジク福祉館の職員の方々は、こども発達医療センターの見学につきオックスの施設見学を行いました。

こどもセンターの見学は、北棟療育棟、リハビリ部門、生活介護部門、託児所、歯科などを、約 1 時間かけて見学されました。

オックスでは、入所部門、福祉ホーム、生活介護部門を見学されました。

見学の最後には、オックス入所者の音楽サークルの皆様からの歓迎の演奏と、就労支援施設での手作りの髪飾りのプレゼント贈呈が行われ、大変和やかな雰囲気の中、視察を終えることができました。来年度から、両法人の職員同士の交流を法人研修の一環として開始します。この研修制度を通して、両法人の友好の輪が更に広がっていくことを期待しています。



サジク総合社会福祉館訪問者紹介



協定締結



協定書



オックス入所者の音楽サークルによる演奏



前列中央がサジク福祉館 ファン館長、後列はサジク職員の皆さん

はてな？キーワード

障害者総合福祉法



平成 25 年 4 月 1 日から、「障害者自立支援法」を改め、「障害者総合支援法」（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）が施行されました。今回の法律で、新たに障害者（児）の定義に難病等が追加されました。パーキンソン病や関節リウマチなどにより、身体機能に支障があっても、症状の変化等によって身体障害者手帳の取得が出来なかった方々も、障害福祉サービスを利用できるようになりました。

また現在の「障害程度区分」が知的障害、発達障害、精神障害の状態を適切に反映していないとの指摘を踏まえ、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものとして「障害支援区分」へと改正されます。

また障害者の高齢化・重度化に対応するとともに、住み慣れた地域における住まいの場の確保の観点から、「共同生活介護（ケアホーム）」は「共同生活援助（グループホーム）」に一元化されます。また、グループホームにおける新たな支援形態として、外部サービスの利用によるサービス提供も検討されています。また「重度訪問介護」及び「地域移行支援」は、それぞれ利用対象が拡大されます。重度訪問介護は、これまでは重度肢体不自由者が対象のサービスでしたが、新たに重度の知的障害者及び精神障害者も利用可能となります。

サービス等の利用計画（ケアプラン）については、平成 27 年 4 月より障害福祉サービス等のすべての支給決定に先立ち作成することとされており、それまでの間は、相談支援の提供体制を考慮する観点から、段階的に対象を拡大する取扱いになっています。

ボランティア・施設見学・実習生受け入れ

（平成25年9月1日～平成25年12月31日）

ボランティア 貴重なお時間を頂きありがとうございます



- 【こども発達医療センター】 佐賀清和高校様 牛津高校様 神埼清明高校様 佐賀大学様 西九州大学様
佐賀女子短期大学様 和太鼓業隠様 ミザップ様 松原めばえ会様
佐賀県神道青年会様 九電友の会様 親和会様
- 【オークス】 坂井ツキエ・坂井ツキ子（書道教室） 田村静二（絵画教室）
川原アヤ子・大島京子（生花教室） 木下千恵子（音楽教室） 吉富大樹（陶芸教室）
佐賀県音楽楽団（クリスマス会）
- 【かんざき清流苑】 音楽愛好会カノン様 神埼市様 佐賀市様 鶴乃会様
韓国より訪問 ヒューマンドレミ様 聖華園様訪問（14名）
- 【からつ医療福祉センター】 折尾幸子様（パン教室） 川打恒子様（書道教室） 辰野真由美様（民謡教室）
田村静二様（絵画教室） 無津路正様（陶芸教室）
昭和バス昭和自動車株式会社様（もちつき大会）
久里双水地区駐在員、婦人会様（もちつき大会）
- 【かんざき日の隈寮】 山崎節子様（日舞クラブ） 三好富美子様（生花クラブ）
森本清子様（身だしなみクラブ） 原千賀子様（身だしなみクラブ）
西村百美様（エアロビクスクラブ）
- 【向陽園・わいわい】 金立町社協様（傾聴ボランティア） 佐賀少年刑務所（訪問理容）
九州電力佐賀営業所様（電化製品清掃） 佐賀栄城ライオンズクラブ様（餅つき）
スワンの会様

施設見学 ご訪問ありがとうございました



- 【こども発達医療センター】 天水町民生委員児童委員協議会様 小竹町民生委員児童委員協議会様
みさぞえの園総合発達医療福祉センター むつみの家様
武雄看護リハビリテーション学校様 諫早療育センター様
柳川療育センター様
- 【オークス】 サジク総合社会福祉館（韓国）
- 【からつ医療福祉センター】 唐津特別支援学校様 唐津第5中学校様 佐賀県立多久高等学校様
糸島市二丈地区児童民生委員様 伊万里特別支援学校様
社会福祉法人 自立の里大地・大空様 唐津市議会議員様
唐津市立高島小学校様 福岡市立今津特別支援学校様
- 【かんざき日の隈寮】 西九州大学様3名 社会福祉法人 和光会様4名 光明寮様4名
- 【向陽園・わいわい】 養護老人ホーム 愛寿園（鹿児島県奄美大島市）

実習生受け入れ 今後のご活躍をお祈り致します



【こども発達医療センター】	佐賀女子短期大学 2名
【オークス】	佐賀女子短期大学 健康福祉学科 4名
【かんざき清流苑】	佐賀大学医学部学外ケア実習 4名 神埼清明高校 2名
【からつ医療福祉センター】	中村学園大学短期大学部保育実習 1名 佐賀大学 1名 創価大学 1名 近畿大学九州短期大学 1名 西九州大学リハビリテーション学部作業療法学専攻 1名 西九州大学リハビリテーション学部理学療法学専攻 1名

お知らせ

法人内行事予定 (抜粋)

1月	2月	3月
1日 年始会 (清流苑) 新年を祝う会 (オークス)	3日 節分会 (日の隈) 豆まき会 (清流苑・向陽園・わいわい)	8日 病棟会 (こども) 11日 防災の日 (向陽園・わいわい)
9日 成人・還暦を祝う会 (こども)	4・5日 豆まき (こども)	24日 地域交流グランドゴルフ大会 (向陽園・わいわい)
14日 初詣 (清流苑) 成人を祝う会 (オークス)	25日 雛祭り会 (清流苑)	
19日 家族懇談会 (向陽園・わいわい)		
25日 静清会初舞会 (日の隈)		

編集後記

「佐賀整肢学園の広報編集委員は各施設から1名の計7名で構成されており、佐賀整肢学園の情報を発信しています。

今回は、法人内の施設をピックアップして紹介しております。こどもから高齢者まで様々なサービスを法人内で行っています。地域から必要とされる施設づくりを目指しての取り組みや特長、これからの展望などを今号で掲載しております。

これから暖かい季節となります。湯布院保養所で家族、友人とゆっくり過ごされてはいかがでしょうか。

広報誌へのご意見ご感想がありましたら、お気軽に法人事務局までお寄せください。(F・H)



発行 社会福祉法人 佐賀整肢学園
住所 〒849-0906 佐賀県佐賀市全立町大字全立2215番地27 TEL 0952-98-2211 FAX 0952-98-3391
URL <http://www.saga-seishi.jp/>

こども発達医療センター

佐賀県佐賀市全立町全立2215-27
TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391
開設年月日/昭和35年4月1日



オークス

佐賀県佐賀市全立町全立168-1
TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772
開設年月日/平成9年4月1日



かんざき清流苑

佐賀県神埼市神埼町鶴2927-2
TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
開設年月日/平成10年4月1日



からつ医療福祉センター

佐賀県唐津市双水2806
TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683
開設年月日/平成14年4月1日



かんざき日の隈寮

佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2
TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229
開設年月日/平成20年4月1日



佐賀向陽園・わいわい

佐賀県佐賀市全立町全立801-1
TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145
開設年月日/平成21年4月1日

